

平成 26 年度「総務省の政策評価に関する有識者会議」（第 2 回会議）

1 日時：平成 26 年 7 月 30 日（水）12 時 30 分～13 時 30 分

2 場所：総務省共用会議室 1

3 出席者：次のとおり。

（1）構成員（敬称略）

総務省の政策評価に関する有識者会議

北大路 信郷 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授（座長）

山本 清 東京大学大学院教育学研究科教授

（以上 2 名）

（2）総務省

安田総括審議官、濱西政策評価審議官、吉牟田政策評価広報課長 ほか

4 資料

資料 1 平成 26 年度主要な政策に係る評価書

資料 2 平成 25 年度主要な政策に係る政策評価の事前分析表

5 議事概要

（1）政策 7 分権型社会を担う地方税制度の構築

政策 7 について、当該政策に係る評価書のチェックを行った構成員がコメントを発表。その後各政策の担当者を含め全員で意見交換、議論。

（2）政策 10 情報通信技術の研究開発・標準化の推進

政策 10 について、当該政策に係る評価書のチェックを行った構成員がコメントを発表。その後各政策の担当者を含め全員で意見交換、議論。

（3）政策 11 情報通信技術の高度利活用の推進

政策 11 について、当該政策に係る評価書のチェックを行った構成員がコメントを発表。その後各政策の担当者を含め全員で意見交換、議論。

（4）政策 17 一般戦災死没者追悼等の事業の推進

政策 17 について、当該政策に係る評価書のチェックを行った構成員がコメントを発表。その後各政策の担当者を含め全員で意見交換、議論。

（5）座長による総括

評価書をもっと書きやすくする工夫ができるのではないかと考えている。言葉についても、測定指標という言葉を使っているが、指標になっていないもの

もある。特に ICT 関係では難しい。指標欄を書きやすくできないか。また、基準値、実績値についても（杓子定規ではなく）別の書き方ができるのではないかと思料。今後のこととして事務局と相談してまいりたい。

以上